



熊本信愛女学院同窓会
〒860-8557
熊本市中心区上林町3番18号
事務局 TEL080-4312-4665
FAX096-365-2816
印刷 橋本印刷 TEL0968-38-2020

同窓会薔薇会「百歳祝賀パーティー」

みんなで盛大に

お祝い致します！



薔薇会会長 米岡 圭子

薔薇会会員の皆様には、年会費納入制度に温かいご理解と多大なご協力を頂き心より感謝申し上げます。

お陰さまで、母校の現在の様子と同窓会活動の様子を全同窓生の皆様にお伝えし、母校愛を共有したいという数年來の願いを叶えることができました。

又、全ての在校生に信愛生活を楽しんでもらいたいとの卒業生の思いを同窓会奨学金制度という形にすることができました。

さらに、被災地支援や在校生部活動支援にも直ぐ動くことができました。

しかし、それらの事にも勝るとも劣らず力を入れた活動は、同窓会設立一〇〇周年記念大同窓会へ向けた事前事業でした。

昨年十二月十五日(土)熊本森都心プラザで「熊本よいとこ大発見」と銘打って行いましたが、その様子はテレビでも放映され、新聞でも大きく報じられました。

同窓会が信愛女学院のイメージアップに繋がる活動をするには生徒募集の強力な応援力になると信じています。

二時、国際交流会館にて「細川佳代子氏講演会」を企画致しました。生誕四五〇周年細川ガラシャの『聖く・明るく・美しく生きる』生き方は、現代の生き方を見つめ直すきっかけになることでしょうか。しかも、それを一般公開することで、信愛女学院の「聖く・明るく・美しく」の校訓が目指す教育が必ずや広く認知される事でしょう。

来年は同窓会活動が始まってから一世紀という節目を迎えます。一〇〇周年という記念の年に立つことができる私達は、一同に会し、これまでの歩みに感謝しながら盛大に「誕生パーティー大同窓会」を行い、「熊本に信愛女学院あり」と高らかに謳い挙げようではありませんか。

この大同窓会では、二回目の成人式でもあります。「はら成人学年(四〇才)」と三回目の成人式でもあります。「還暦学年(六〇才)」のお祝いも同時に行います。二〇一四年六月十五日(日)、午前十一時、ホテルキャッスル集合です。全国各地から必ず馳せ参じるとの声が届いています。本部役員もこの声に押されて準備に力が入ります。詳しい内容につきましては、来年度に入りましてホームページやブログでもお知らせ致します。是非ご覧ください。

今年度も、皆様からの年会費に託された母校愛を大切にしながら、来年度に繋がる実りある同窓会活動を進めていく所存です。引き続き年会費納入への温かいご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。最後にになりましたが、皆様の健康と益々のご活躍を心よりお祈り致します。

新年度を迎えて

校長 松尾 京子

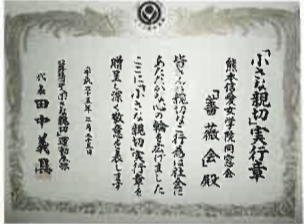
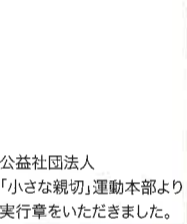


柔かな若い芽が春の日を受けて大きく育とうとしています。同窓会の皆様にはご健勝でお過ごしのことと存じます。母校も新年度を迎え、多くの新入生が入学し、また新任の先生方も増え、喜びと希望が湧いています。

去る四月一日には、台北の姉妹校から一五三名の生徒と六名の引率の先生が来校されました。おもてなしの一環として、上通り界隈を案内する生徒を募りましたところ、なんと一七〇名を超えるボランティアの生徒たちが集まりました。また休日にもかかわらず、吹奏楽や新体操の披露、夕コ焼き接待を含めて、二〇〇名余りの生徒が奉仕しました。僅かな滞在時間でしたが、姉妹校間の友好を深め、また国際交流のよい機会となりました。

ところで、ある障害者の人がいて、Aさんとある約束をしていたのですが、Aさんの都合でその約束が果たせなくなりました。次に会った時、Aさんは「自分の都合でお約束が果たせなくてごめんなさい」と言いました。すると障害者は「私はずっと自分の都合でなく、人の都合で生きてきました。自分の都合で生きたことはありませんでした。だから、ちっとも気にしないでください。大丈夫ですよ」と言いました。逆に心を痛めたのですが、その障害者が入っている施設のグループでは、いつも穏やかで平和になるそうです。

人のために生きる人は強く生きられるのでしよう。なぜなら欲に縛られていないからだと考えさせられる。在校生も思いやり、優しさを身につけ、社会に貢献できる女性になれることを願っています。皆様の日頃のご協力、ご支援に心から感謝しながら、ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



公益社団法人「小さな親切」運動本部より実行章をいただきました。

年会費納入 誠に有難うございました

Table with financial data for the 24th fiscal year, including total income of 4,133,000 yen and a breakdown of income and expenses.

本年度も会費納入宜しくお願い申し上げます。1口 2,000円 (何口でも可) (納入期限 平成26年3月31日)

Advertisement for 'Syoubikai Original Goods' featuring 'Kawabuchi' (華回廊) and 'Illustrated Book' (絵葉書) for sale.

Advertisement for the 'Name Book Department' (名簿部) regarding name and address changes.

Advertisement for the Syoubikai Association, including contact information and the 100th anniversary website.

平成25年卒業生進路状況

進学	国公立大学	33名
	私立大学	84名
	短期大学	23名
	高等看護学校	22名
	医療系専門学校	13名
就職	その他の専門学校	15名
	就職100パーセント (県内 30名、県外 4名)	



「白昼夢」

在校生の活躍

熊日女性絵画大賞
熊日女性絵画大賞
(現)九州造形短期大学1年
富松 楓子



全国大会出場
新体操部



全国大会銅賞
バレーボール部

頑張る信愛生、
新たな旅立ちを
応援しています！

同窓生の活躍



ふるさとへの思いを桜にたくって
永田道子さん (昭和三十四年B組卒)

信愛女学院を卒業して五十有余年が過ぎました。東京オリンピックの年に上京し衆議院議員の事務所働き始めました。
ある時イタリアンレストランでいただいたバジリコスパゲッティに感激しこれが食の世界に関心をもちつきかけとなりました。料理の知識も浅く試行錯誤しながらも一九六八年に六本木でレストランを開店する事が出来ました。当時はイタリアの食材も少なくバジルのかわりに他の野菜を代用するなど苦労しながらも美味しいお料理

熊本への思いが強く、その気持ちをかたちに今春ふると富合町に桜の木を植える事が出来ました。いつの時も満開の花々を人々の心を慰め幸せな気分をさせてくれます。毎年春を告げる桜が希望の灯りになりますように願っています。
信愛女学院の益々のご発展をお祈り申し上げます。



私とユニセフ活動
出田光子さん
(昭和四十五年卒)

私はユニセフ活動のお手伝いを始めて二十年近くになります。日本ユニセフ協会は世界三十六の先進国・地域にあるユニセフ国内委員会の一つで、熊本ユニセフ協会はそのプランチの一つで広報活動・募金活動などを行っています。
熊本では、設立当初から「アフリカの子どもの日」というイベントを行ってきました。これは南アフリカ共和国・ソウエツトで起こった、子どもたちの無差別大量虐殺の悲劇を繰り返さないよう、アフリカ統一機構加盟国により一九九一年に制定された記念日です。
熊本での「アフリカの子どもの日」のイベントは三日間の大行事で、アフリカからの留学生・熊本の中・高・大学生を中心に「アフリカを知る」ことから、若者に「世界に目を向けてもらう」ことを目的としています。もちろん毎年信愛の生徒さん方もたくさん参加してください。
私はこの行事をはじめ、今まで行ってきた講演会、募金活動など、この二十年間で多くの人と出会い、かけがえのない経験をしてきました。アフリカにも三度行くことができ、普段できない経験をしました。
常に知ることに嬉しさ、人との出会い、自分への挑戦などの連続でした。たまたまお手伝いしたユニセフでしたが、私の人生で大きな役割を占めた場所だと思えます。いつも生涯学習を受けさせてもらっていると思っています。これからもできる限り関わっていきたいと思います。



学びを活かして
島田眞由美さん
(昭和四十七年保育科卒)

私は平成十四年から、子育て支援のボランティア活動を続けています。
現在では少子化や子どもの虐待等、深刻化し、色々な取り組みがなされています。多くの女性は「出産して初めて赤ちゃんを抱いた」と言われるように、子どもとのふれあい体験がないことが育児不安につながり、負担に感じるようになってきています。そこで、自分の子育て経験を何か役立てられないかと、色々な支援者となつたり、活動をはじめました。
その中の「親支援プログラム」の実践では、行政と連携し、子育て中の母親が楽しく学び合える場や仲間づくりの場を提供し親として育つことを応援しています。
これらの活動のきっかけは、夫の転勤で過した東京での子育て体験からでした。だれも知り合いない社宅での子育てでは、信愛で学んだことが役立ち、少しでも子どもの成長や発達、病気等について知識をもっていたことで、相談を受けることもあり、悩みを共有することもできました。又、お互いに子どもを預かったり、一緒に出掛けることも多く、助け合える仲間ができました。
このような体験から、任んでいける地域でのつながりの大切さを実感し、母親同志をつなぐお手伝いをしたいと思いました。これからは、これらの活動をおして、子育てしやすい地域づくりを進めていきたいと思っています。



書道と私
上村直美さん
信愛女学院常勤講師書道担当(昭和五十三年卒)

平成二十四年十二月五日、熊本市中央区世安町の熊日本社にて熊日書道展の審査があり、グランプリの熊日賞に選出されました。作品は、昨夏の九州北部豪雨で被災された方々の何かお手伝いをしたいという強い思いから、中国・明時代の高青邱の詩を題材に復興への気持ちを込めて書きました。受賞の知らせを受けた時は、驚きと同時に、私に書の道へのきっかけを作ってくださった水浦シズエ校長先生をはじめ、諸先生方との素晴らしい出会いに、この信愛女学院で恵まれたお陰だと心から感謝しています。先生方の自分を惜しみなく与えるという教育に対する姿勢(お姿)をお手本としながら、この賞に恥じぬよう私も本院の伝統を受け継ぎ、思いやりと感謝の気持ちをお忘れず、生徒と共に日々精進していきたいと思います。
来年は、同窓会設立百周年という大きな節目の年を迎えます。本院ならびに同窓会の益々の繁栄を祈念申し上げます。その一端にでも貢献してゆけたらと決意を新たにしております。



支部の活動

11回 支部の集い

平成25年5月18日(土) 11時30分～
会場 アークホテル

出席者：校長、副校長、教頭、入試部長、本部顧問4名、関西支部2名、合志支部1名、南阿蘇支部1名、宇土支部2名、熊本市中央区3名、熊本市東区3名、熊本市北区2名、熊本市西区2名、天草支部2名、本部役員6名 計32名。



(支部役員の方たち)

関西支部長磯田さん、事務局長宮本さんの快活な大阪弁で場が盛り上がり、各支部の抱負や意見が活発に出されました。本部役員も各支部の『元気』に勇気づけられました。

又、顧問さんや各支部の方々には平成25年7月13日の「細川佳代子氏講演会」のチケット販売にもご協力頂きました。学校の近況も分かり、学校と同窓会が一体となった貴重な集いになりました。

〈各支部の抱負〉

- ・今年こそは支部会を開きます。10月中旬～11月中旬位に開きたい。(宇土)
- ・支部のお手伝いをして下さる方を増やしたいと思います。(中央区)
- ・母校の発展のため、力になりたい。「こういう催し物をやりたい！」など希望がありましたらお気軽に声をお掛け下さい。(東区)
- ・会員の交流の機会を定期的に持ちたい。母校のPR及びボランティア等に楽しく活動していきたい。(北区)
- ・参加者が少なくても、まずは楽しく行動することが大切。今年度は同窓会の行事も多く積極的に参加して応援したい。(西区)
- ・広めようをモットーに人と人との懸け橋になれるように新しい風を入れていきたい。(南区)
- ・総会2年1回実施し、参加人数を増やしたい。華秋祭のバザーでのパワーアップ(天草)

各支部では皆様の参加をお待ちしています。
お問い合わせ先：080-4312-4665

支部紹介

同窓会や学校からのお知らせが確実に多くの同窓生の方々に届くように、県内外に支部を設立し、地域単位で同窓生の親睦を図り楽しく活動していきましょう。

本部	会長 米岡 圭子
関東支部	支部長 平岡まり子
関西支部	支部長 磯田 昌子
宇土支部	支部長 内田 道子
泗水支部	支部長 高見 伸代
南阿蘇支部	支部長 河津 輝代
合志支部	支部長 松本恵美子
小国郷支部	支部長 石田美紗子
一の宮支部	支部長 松下 玲子
石垣支部	支部長 高木 千景
沖繩本島支部	支部長 町田 啓子
熊本市中央区支部	支部長 川田 幸子
東区支部	支部長 福田美由紀
北区支部	支部長 鶴永 美砂
西区支部	支部長 宮本ちづ子
南区支部	支部長 板坂 美奈
天草支部	支部長 木本 圭子
山鹿支部	支部長 木庭 律子

各支部の同窓生の皆様、ご協力をよろしくお願ひいたします。

天草よいとこ来てハイよ!

天草支部薔薇会総会 平成二十五年二月三日(日)

天草シーサイドホテルで開催されました。出席者 安田市長、松尾校長、山田副校長、天草支部顧問田中様、支部会員十九名、本部九名、総勢三十二名。厳粛な中に会が始まり学校近況報告、同窓会活動報告、本支部長からの報告、安田市長から天草行政の取り組みの報告がありました。



天草支部は学校の華秋祭に毎年のように出店され母校のため、天草の地域のために率先して活動されています。他の支部も感化されて動いていて、と言っても過言ではありません。それでも、最近では、会員の増員が少ないのが一番の悩みだそうです。

関東支部の皆様全国春高バレー 応援有難うございました!

関東支部総会 平成二十四年十一月二十三日(日)

第三十一回「はらの会」が四ツ谷の「スクワール麹町」で開かれました。出席者 山田副校長、河合先生(現・西田)、関東支部二十二名、本部五名、総勢二十九名。

当日はあいにくの雨でしたが、会場は快晴の明るさで活気があり、さすが支部設立第一号の歴史を感じました。山田副校長先生が春高バレー二十六回連続出場の話や学校の近況報告をされる時には皆様真剣に耳を傾けておられました。熊本に住んでいる私たちが以上に母校愛にあふれておられ、改めて信愛同窓生の温かさや強い絆を実感しました。

春の故郷、二つの心の故郷を持つ一人一人が強くそれぞれの地で生活・活動されておられました。宴では、関東支部より民謡や「スカイツリー音頭」の踊り、本部からは「牛深ハイヤ」を披露し合い、最後は懐かしい校歌で心一つになりました。



華秋祭

作品募集・バザー用遊休品提供のお願い

本年度も10月26日(土)に華秋祭が行われます。個性あふれる作品を出品していただき、私たちに感性を与えて下さい。
なお、作品は10月18日までに同窓会室へお願い致します。(郵送可)



関西薔薇会主催の「ミニコンサート」が開催されました。

参加者 関西県人会、関西支部メンバーのご友人、関西支部メンバー、本部二名 総勢四十三名。

四月十日(水) 十時、大阪造幣局集合。日本の硬貨ができるまでの工場見学からスタートし、桜の見所としても有名な造幣局通りの百種類をも超えるサクラを観賞することができました。

会場の「太閤園」では熊本在住の「フォークデュオ」がミニコンサートを開催し、透き通る歌声とシンセサイザーを駆使したサウンドで奏でられる曲の数々に魅了されました。この会場では同窓生とご友人、県人会の皆様との交流ができ、信愛女学院の良さを広げる素晴らしい会になりました。



株式会社 村健
MURAKEN
【総合建設業】
村上栄子 (S40年卒)
〒861-5524 熊本県熊本市北区祝川町749
TEL(096)245-0230 FAX(096)245-0299
HP <http://murakenhome.jp/>

IKUKO テレビでおなじみの
SINCE 1977
プチ **Petit ふみこ**
KUMAMOTO
〒860-0845
熊本市中央区上通町10-15 NKビル1F
TEL096-352-0117
定休日 火、水曜日
S44年卒 坂本文子 (旧姓山下)

手づくりのレストラン
花の木
カレー・ハンバーグ
スイーツ専門店
〒862-0913 熊本市東区尾の上4丁目1-21
TEL096-369-8402
営業時間
ランチ/11:30~14:30
ティール/14:30~17:30
ディナー/17:30~21:30
定休日はございません。
H5年卒 坂本純子

有限会社 **不動産のマツムラ**
MATSUMURA
宅地建物取引主任者
専務 **松村 都子**
S50年卒
〒860-0085 熊本市北区高平3丁目13-35
TEL (代) 096-344-9889
FAX096-344-9877
URL:<http://www.f-matsumura.com>
E-mail:info@f-matsumura.com

2014年同窓会設立100周年大同窓会でお会いしましょう

ばら成人学年会(平成4年卒)、還暦学年会(昭和48年卒)を同時に行います

2013年 『細川佳代子氏講演会』

第2弾

7月13日(土)14:00開演
国際交流会館7F

2014年 同窓会設立100周年大同窓会

6月15日(日)11時受付
ホテルキャッスル2F

ばら成人会

還暦学年会

同時開催

第1弾

同窓会設立100周年記念事前事業スタート!

H24年12月15日

くまもと森都心プラザホールで「くまもとよいところ大発見」のテーマで盛大に行われました。



ばら成人学年会 (平成2年卒業)

2012年6月9日(土)11:00から14:00信愛女学院食堂にて卒業生47名、恩師6名、来賓7名をお迎えし、40歳のお誕生日をお祝いしました。アンケートには・クラスメートや恩師の先生にお逢いしとても嬉しかった。また、学校が懐かしかった。

・「校歌斉唱」で涙がでました。等の感想が寄せられました。



※2013年6月8日(土)に平成3年卒業の皆様のおばら成人学年会がありました。(次回の会報でご報告します。)

第1回 クラス役員会 (昭和39年~44年卒業)

同窓会活動と母校の様子を知っていただきたく、一昨年、昨年と全同窓生に会報を配布しました。情報を共有することで、活動の輪にも今まで以上に参加をして頂けるだろうという願いがありました。が会報だけでは力不足なのがありました。

そこで直接的にクラスメートに情報を伝えていただく為にクラス役員さんに協力をお願いすることにしました。

まずは昭和39~昭和44年卒の方々にクラス役員になって頂けるよう本部からお声かけをさせていただきましたところ、お忙しい中、32名の方が応えて下さいました。今年7月13日「細川佳代子氏講演会」と来年6月15日の「大同窓会」への参加の呼びかけをお願いしました。

2時間の話し合いで、貴重なご意見や知恵を活発に出して頂き、有意義な会になりました。



還暦学年会 (昭和46年卒業)

2012年10月20日(土)卒業生34名、恩師4名のご参加があり、還暦の節目と共に喜び祝福致しました。

※本年度は昭和47年卒業生が還暦学年です。お誘い合わせの上、たくさんのご参加心よりお待ちしております。

日時 10月26日(土)10:30受付
学校主催の華秋祭同時開催
場所 信愛女学院食堂



新同窓生クラス役員



新役員です



本部執行部

会長 米岡 圭子
文化部長 永田 節子
渉外部 今村 二重
総務部 三島 美枝
広報部 宮本 ちづ美
広報部 山下 久美子
会計部 村上 幸子
名簿部 村上 幸子

主な行事予定

- | | |
|--|---|
| 平成25年 | 10月26日 (学) (薔) 華秋祭 還暦学年会 (昭和47年卒) |
| 4月10日 (薔) 関西支部総会 | 11月16日 (薔) 教職員をつとめ(学校にて) |
| 16日 (薔) 新年度全体役員会 | 12月24日 (学) クリスマスキャロリング |
| 5月12日 (学) 信愛女学院体育祭 | |
| 18日 (薔) 全支部をつとめ | |
| 6月1日~5日 (学) 高校総体・総文~2日 | 平成26年 |
| 8日 (薔) ばら成人学年会(平成3年卒) | 1月29日 (薔) 6学年合同クラス役員会 (S45卒・46・47・48・49・50) |
| 28日 (薔) 薔薇会だより発送 | 2月26日 (薔) 卒業生新クラス役員との懇親会 |
| 30日~7月6日 (学) 中体連 | 28日 (薔) 卒業生薔薇会入会式 |
| 7月13日 (薔) 文化事業(同窓会設立100周年に向けて) 「細川佳代子氏講演会」 | 3月1日 (学) 高校卒業式 |
| 夏休み期間 (薔) 阿蘇一宮みんなの家訪問 龍田地区被災地訪問 支部めぐり、同窓生めぐり、学校めぐり | 11日 (学) 中学卒業式予定 |

編集後記

「第17号薔薇会だより」の発行にあたり、学校関係、同窓生、広告掲示の皆様にご協力やご支援を戴きおかげでたくさんの情報を提供することができました。心から感謝申し上げます。来年同窓会設立100周年記念大同窓会や、本年7月13日の事前事業に役員一同、一層努力してまいります。同窓生の皆様のご理解とご協力そしてご参加をよろしく願っています。

編集委員一同